

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TODAY児童デイサービス船橋夏見		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	おやつ・食事形態を一人一人に配慮して対応していること。	おやつや昼食は、一口大・ペースト・刻みなど、個人の食事形態に合わせて提供している。また、児童の好みに合わせて毎日違うおやつを工夫して出している。職員全員が食の好みや食事形態を把握しており、きめ細かな対応が出来る。	好みに合わせるだけでなく、苦手な食べ物を食べられるような工夫や、食べたことのないものにチャレンジできるようにする。
2	肢体不自由児に特化した活動を行っていること。	コミュニケーション能力の向上や歩行練習、手先・足先の運動、拘縮の緩和を目的とした体操、社会常識の習得など、肢体不自由児向けの自立を促す支援を行っている。また、家庭で外出できない児童が多いため、友達と一緒に少人数で外出する機会を設けている。	肢体不自由だけでなく、さまざまな障害に幅広く対応する知識・スキルが求められる。外出は、好奇心を刺激するような興味のある所をピックアップしていきたい。
3	施設通信や連絡帳・引継ぎを通じ、保護者と詳細な情報共有を行っていること。	毎日の連絡帳や引継ぎで当日の様子を細かく伝えている。特にあざや会話の中の小さな違和感や変化は見逃さないようにしっかりと共有する。また、毎月「TODAYだより」と呼ばれる施設通信を発行している。イベントやレクリエーションの様子をたくさんの写真で明るく伝えている。	情報共有では、違和感だけでなく良い変化も見逃さずつたえるようにしていきたい。連絡帳にそのような欄を設ける等の工夫をしたい。また写真は日常でもイベントでもたくさん撮って、TODAYだよりや誕生日カードに活用したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や他施設との交流が少ないこと。	地域にはデイサービスやデイケアが多く、利用者層が異なっている点、法人間でも近隣の施設からかなり離れている点が挙げられる。また、交流をするための時間や人員の確保ができていないこと、交流に興味を持つ利用者が少ないことも要因の一つと考えられる。	支援の様子を見てもらう保護者の開催により、複数の家族同士の交流を促す。また、イベントやレクリエーションで同法人の東船橋施設との交流を児童と一緒に企画し、児童に興味を持ってもらうから開催する。
2	卒業後の就労や生活介護事業等への移行がスムーズでないこと。	同法人間に身体障害者向けの就労サービスや生活介護がほとんどなく、紹介することができないため。地域の上記サービスとのかわりがないため、引継ぎがうまくできず、新しい人間関係に馴染めなかったり、利用者のニーズと職員の支援との間に齟齬が生じる恐れがあるため。	利用者から卒業後の移行先を早めに教えてもらい、新しい施設の担当者とADLや課題、本人の特性などについて情報共有を行う。実習や見学に行った場合は、本人や保護者の方から様子を聞き取り、再度情報共有を行う。
3	要介助の児童の手洗い・消毒の不備、トイレの待ち時間が長いことによる失禁など、衛生面での課題	要介助の児童は、洗面所で手洗いをするのが難しいため、トイレの後や食事前などに清潔にすることを忘れてしまうことがある。また、施設にはベッドが一つしかないため、ベッドを利用する介助度の高い児童が多いと待ち時間が長くなりやすい。長く待っていると失禁の恐れやストレスの原因にもなる。	定時で消毒の時間を設けるなどして常に清潔な状態を保つようにする。小学校低学年のうちからトイレトレーニングを行い、ベッドから便座への移行を積極的に行う。トレーニングできていない児童には、布団等で臨時的トイレを設けて定時の排泄を心がける。